

# **SEKONIC**

## **スタジオデラックス**

### **L-398A**

#### **使用説明書**

保証書付

お買いあげありがとうございます。

この使用説明書をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

この使用説明書には、保証書が添付されておりますのでお読みになった後も、大切に保存してください。



# 正しく安全にお使いいただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 **警告** このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。

 **注意** このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷、または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。

 **警告**

取り出しの出来る光球、白色平板、光角度板、スライド板は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。誤飲により窒息等の危険があります。

乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

 **注意**

強力なマグネットを内蔵しています。磁気の影響を受けやすい物に近づけないでください。記憶の内容を失ったり、機能の一部を破損する場合があります。

例：キャッシュカード、フロッピーディスク、定期券等の磁気カード類、及びテレビ、コンピュータ等のディスプレイ装置。

# 目 次

---

正しく安全にお使いいただくために

## 目 次

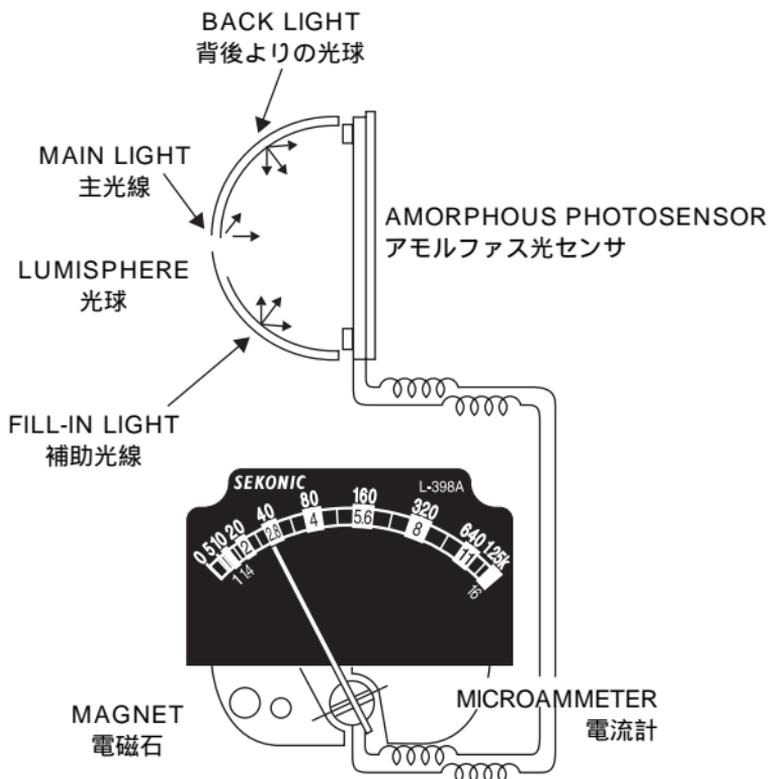
1.特 長 .....	1
2.仕 様 .....	3
3.各部の名称 .....	4
4.付属品 .....	5
5.本体の基本的な使い方 .....	6
1.ストッパーボタンの使い方 .....	6
2.ゼロ位置の確認と調整 .....	6
3.メモ用設定指針の使い方 .....	7
6.付属品の使い方 .....	8
入射光式の測定 .....	8
1.光球 .....	8
2.白色平板 .....	11
反射光式の測定 .....	12
1.光角度板 .....	12
その他 .....	14
1.エクスポージャーバリュー( EV値 )の読みとり ...	14
2.シネ目盛の使い方 .....	14
3.露出倍数( - 2、 - 1、 + 1、 + 2 )の使い方 .....	15
7.付属品( 別売 )の使い方 .....	16
1.直読スライドの特長 .....	16
2.直読スライドの使い方 .....	17
8.取扱い上の注意 .....	18
9.アフターサービスについて .....	19
保証規定 .....	20
保証書 .....	22

# 1. 特 長

一般の被写体にはすべて、反射の強い面(反射率の高い面)と反射の弱い面(反射率の低い面)がさまざまな階調で複雑に組み合わされています。そしてこの変化は当然、露出を決定する際に微妙な影響を与えるわけで、どの部分に露出を合わせるかが重要なポイントになりますし、写真のでき具合も大きく変わってきます。各部分、あるいは両極端をそれぞれ測定し、その平均値を求めることによって失敗のない写真を撮ることはできますが、これは、時間がかかりすぎる欠点があります。そんな不便さを一挙に解決したのがスタジオデラックスです。

1. 入射光式(反射光式も可能)として最高の露出計です。
2. 受光部が自由に回転できるので測定がたいへん楽にできます。
3. 指針ストッパーがついています。測定は手元から離しても操作できます。
4. 指針を自由に振らせる解除機構をもうけました。
5. メモ用設定指針をもうけましたので、ライトバランスの決定には、一層便利になりました。
6. 光球により被写体と同一光線状態で受光できます。  
被写体は普通、立体ですから、光線状態によって明るい面(ハイライト)と暗い面(シャドウ)ができます。(照明コントラスト)。光球はこの被写体とまったく同一の状態です。光を受けますし、各方向からの光の強さに応じて自動的に撮影に関係のある値をメーターに指示させる機能をもっています。従って、一般の露出決定には、この光球が一番便利なわけです。
7. ISO感度とシャッター速度の組み合わせから直読スライド(別売)を使用しますと直接絞り値を求めることができます。
8. 受光素子としてアモルファス光センサを使用していますので電池を必要としません。
9. 付属品を使用することによって撮影の幅が広がります。

## 1. 特 長



### ⚠ 注意

強力なマグネットを内蔵しています。磁気の影響を受けやすい物に近づけないでください。記憶の内容を失ったり、機能の一部を破損する場合があります。

例：キャッシュカード、フロッピーディスク、定期券等の磁気カード類、及びテレビ、コンピュータ等のディスプレイ装置。

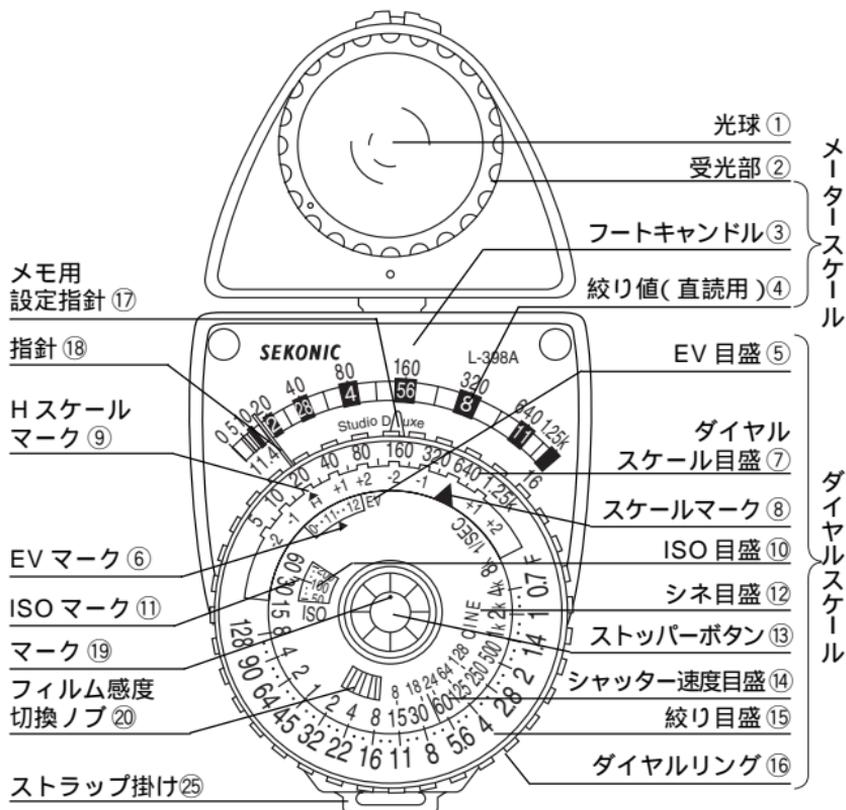
## 2. 仕 様

形 式	定常光用アナログ露出計
受 光 方 式	入射光式 (反射光式可能)
受 光 部	入射光式 光球及び白色平板 反射光式 光角度板 (受光角 30°)
測 定 範 囲 (ISO100)	EV 4 ~ 17 (入射光式) EV 9 ~ 17 (反射光式)
I S O 目 盛	6 ~ 12000 (1/3 ステップ)
シャッタ目盛	60 ~ 1/8000 秒
絞 り 目 盛	0.7 ~ 128 (1/3 ステップ)
シネコマ数目盛	8,18,24,64,128 (f/s)
E V 目 盛	EV1 ~ 20 (1/3 ステップ)
校 正 定 数	入射光式 光 球 C = 340 白色平板 反射光式 K = 12.5
使用温度範囲	0 ~ 40
保存温度範囲	- 20 ~ 60
寸 法	112 × 58 × 34mm
質 量	約 190 グラム

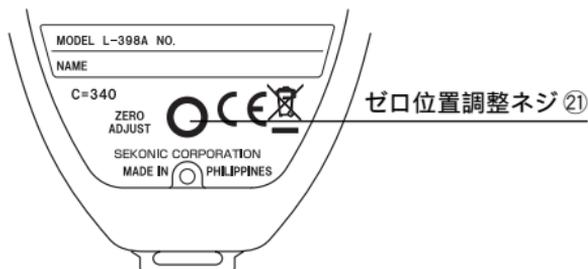
この使用説明書に記載の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

### 3. 各部の名称

正面

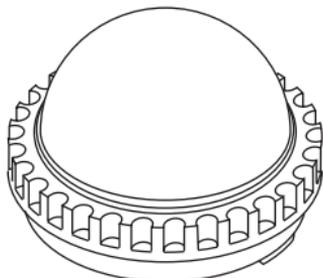


裏面

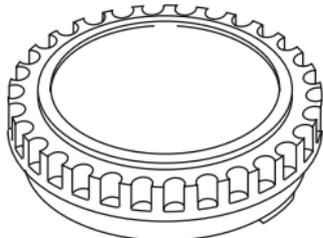


## 4. 付属品

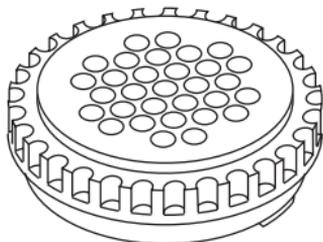
光球 ①



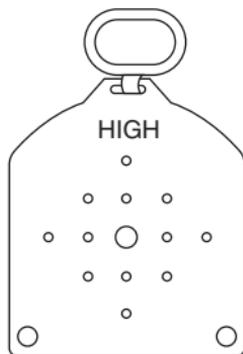
白色平板 ②③  
(ルミディスク)



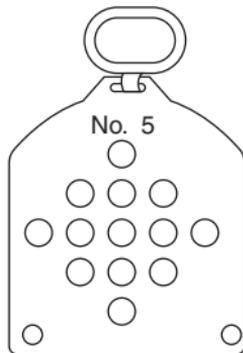
光角度板 ②④  
(ルミグリッド)



HIGH 専用スライド ②②  
(Hスライド)



付属品 (別売)  
直読スライド



直読スライドは全部で 11 枚あります。(ケース入り 11 枚セット)

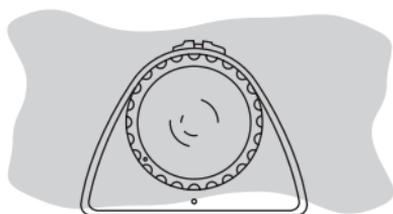
 警告

取り出しの出来る光球、白色平板、光角度板、スライド板は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。誤飲により窒息等の危険があります。

## 5. 本体の基本的な使い方

1. ストッパーボタンの使い方  
ストッパーボタン⑬のマーク⑰が・の時、ストッパーボタンを押すと指針⑱は明るさに応じて振れ、はなすと指針はその振れた位置で固定されます。

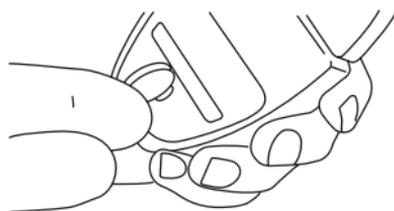
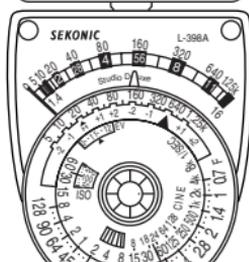
ストッパーボタンを押したままマーク位置が・になるまで時計方向に回すと指針は解除され、ストッパーボタンをはなしても明るさに応じて自由に振れます。また指針を固定したい時は、そのままストッパーボタンを反時計方向にまわしてマークを・にしてください。



### 2. ゼロ位置の確認と調整

ストッパーボタンを解除した状態・で受光部を手か黒布で覆って光を完全に遮断し、指針がゼロ位置を正しく指示しているか確認してください。

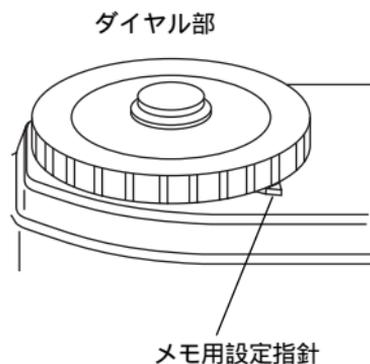
指針がゼロ位置からずれているときは、本体裏側のゼロ位置調整ネジ⑳のネジ溝へ硬貨などをあてて指針を見ながら静かに回転させ、調整してください。



## 5. 本体の基本的な使い方

3. メモ用設定指針の使い方  
ダイヤルリング⑯とメモ用設定指針⑰のダイヤル部を同時にもち、指針位置又は設定したい明るさの位置にメモ用設定指針を合わせます。

実用例は P11 参照。

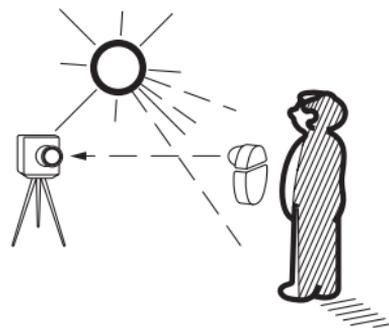
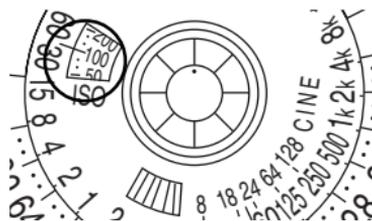
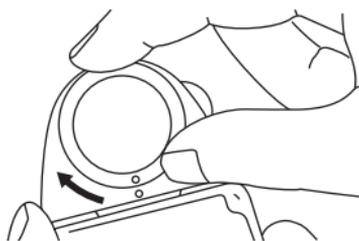


## 6. 付属品の使い方

### 入射光式の測定

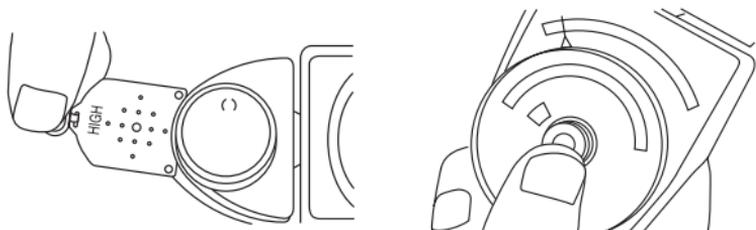
#### 1. 光球

- a. 光球①を受光部②にとりつけてください。とりつける際は、光球の枠の白点を受光部の白点にあわせてセットし時計方向に(約 $45^\circ$ )静かにまわすと、光球は確実に固定されます。
- b. 使用するフィルム感度の数値をフィルム感度切換ノブ⑳を動かしてセットしてください。ISO数値は右側のISOマーク㉑に、セットします。絵図ではISO100にセットされています。
- c. 被写体の測定したい位置から、光球をカメラ方向に向けます。(受光部は、自由に回転します。)

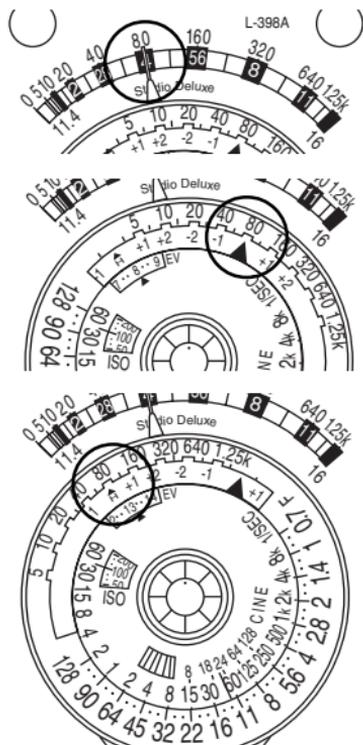


## 6. 付属品の使い方

- d. 露出計を正しく保持して、ストッパーボタン⑬を押してください。指針⑱は明るさに応じて振れます。ストッパーボタンを離しますと、指針はその位置で固定されます。もし明るいところで指針が振りきれた場合は、HIGH スライド⑳を入れてください。



- e. 指針⑱の指示したメータースケールのフットキャンドル③を読みとります。
- f. 読みとったフットキャンドルの数値をダイヤルスケール目盛⑦に移し、ダイヤリング⑬を回転させて印のスケールマーク⑧にあわせませす。HIGHT スライドを入れた状態のときは、H 印のHスケールマーク⑨にあわせてください。



## 6. 付属品の使い方

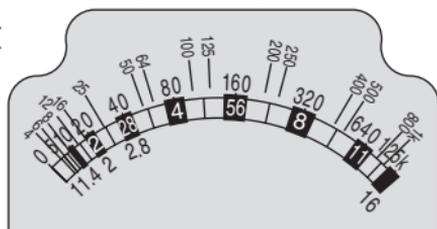
- g. そのときのシャッター速度目盛⑭と絞り目盛⑮の組み合わせが適正露出となります。

(例) HIGHスライドを入れた状態でISO100のとき指針がフットキャンドル目盛の80を指した場合の適正露出は、F/5.6で1/250秒、F/16で1/30秒、F/90で1秒となります。

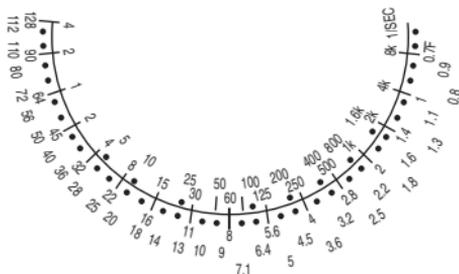
測定後、フィルム感度を変更する場合は、ISOの変換により、自動的に絞り目盛とシャッター速度目盛の組み合わせが変換できません。

フットキャンドル

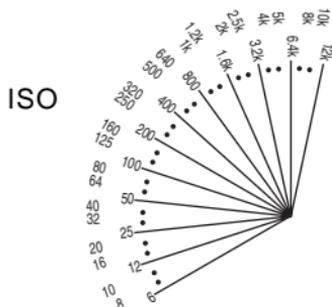
メータースケールの中間値



シャッター速度と  
絞り目盛の中間値



フィルム感度の  
中間値

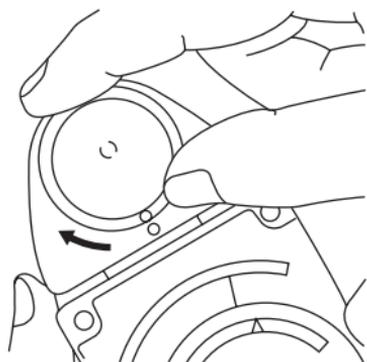


## 2. 白色平板（ルミデスク）

照明コントラストの調整と照度を測定する場合に使用します。

## コントラストの測定

- 白色平板⑬を受光部②にとりつけてください。とりつけかたは、光球の場合と同様です。（P8 参照）
- 露出計を被写体位置で保持し白色平板を主光源の中心に正しく向けます。
- ストッパーボタン⑬を押し、メータースケールのフートキャンドル③を読みとります。このとき、メモ用設定指針⑰を指針位置にあわせておく便利です。
- 同様の操作で補助光源のフートキャンドルを読みとります。この場合、主光源からの光線が入らないように注意してください。
- 主光線と補助光線のフートキャンドルの比が対照比（コンストラスト比）となります。



(例) 主光源の指示目盛が640フートキャンドルで補助光源の指示目盛が320フートキャンドルとすれば照明の対照比は、

$$\frac{640}{320} = \frac{2}{1} \quad 2:1 \text{ となります。}$$

## 6. 付属品の使い方

### 照度（ルクス）の測定

- 白色平板⑬を光球と同様の操作で受光部②にとりつけてください。
- 被写体位置で白色平板を光源に向けてください。
- ストッパーボタン⑬を押しメータースケールのフートキャンドル③を読みとります。
- 読みとった数値を 10.76 倍したものがルクスとなります。

（例） $80 \times 10.76 = 860.8$  ルクス

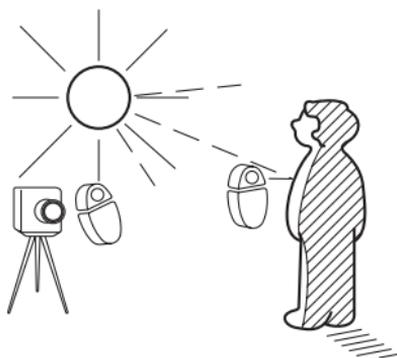
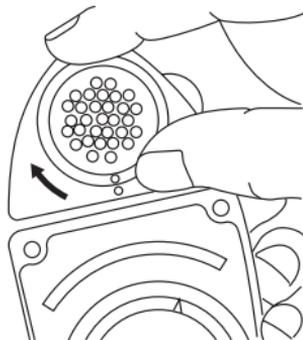
指針が振りきれってしまうときは、HIGHスライド⑭を入れてください。  
このときは、フートキャンドル数値を 32 倍にして読んでください。

（例） $80 \times 32 = 2560$  フートキャンドル

$2560 \times 10.76 = 27545.6$  ルクス

### 反射光式の測定

- 光角度板（ルミグリッド）
  - 光角度板⑮を光球①と同様の操作で受光部②にとりつけてください。（P8 参照）
  - 使用するフィルム感度の数値をセットしてください。セットのしかたは、入射光式の場合と同様です。
  - 光角度板をカメラの位置から被写体の測定したい個所に正しく向けます。
  - もし狭い範囲を測定したい場合は、できるだけ被写体に接近し、被写体の主要部からの



## 6. 付属品の使い方

反射光を測定することもできます。このとき、測定個所に露出計の陰などをいれないように十分注意してください。

- e. ストッパーボタン⑬を押し、メータースケールのフートキャンドル③を読みとります。

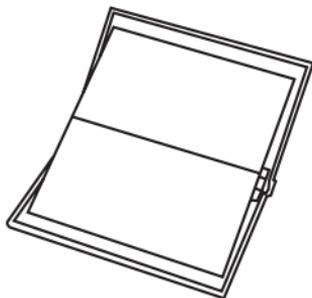
ただし、フートキャンドルは、入射測定の際のみの単位ですから、この場合は単に指針位置を示す目安の数値となります。

- f. 読みとった数値をダイヤルスケール目盛⑦に移し、ダイヤルリング⑬を回転させてH印のHスケールマーク⑨にあわせませす。

- g. そのときのシャッター速度目盛⑭と絞り目盛⑮の組みあわせが露出値となります。

<注> 反射光式の場合は、スライド類は一切使えません。

反射光式の測定の際、標準反射板(別売)を使用すると、より正しい数値がえられます。





## 6. 付属品の使い方

<注>シネカメラの中には、露出時間を早くしたものもありま  
す。これは回転シャッターの開角（光を透過させる部分の角度）  
が狭くなっているためです。

お客様のカメラのコマ数に対するシャッター開角度を正確に知っ  
ておくことは、適正露出を決めるうえで重要なことです。

シネカメラの説明書、またはカタログなどからシャッター開角度  
と照合してください。

$$T = \frac{\quad}{360 \times R}$$

R = 1秒間に露出されるコマ数

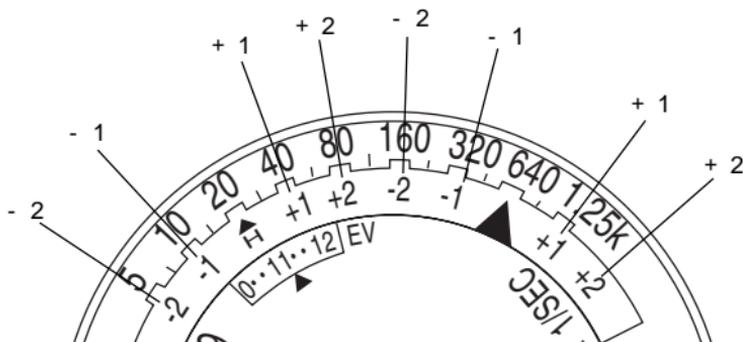
T = 露出時間

= シャッター開角度

<注>コマ数はシャッター開角度 180° の値が表示されています。

### 3. 露出倍数（- 2、- 1、+ 1、+ 2）の使い方

ダイヤルスケールのHスケールマーク（H）またはスケールマーク  
（ ）の両側に露出倍数目盛がついています。- 1、- 2、は露出を  
1段（1/2倍）、2段（1/4倍）少なく、+ 1、+ 2は露出を1段  
（2倍）、2段（4倍）に多くしたいときに使います。Hスケールマ  
ーク（H）、スケールマーク（ ）のかわりに、- 2、- 1、+ 1、+  
2の目盛にフットキャンドル数値をあわせてください。



## 7. 付属品（別売）の使い方

### 1. 直読スライドの特徴

スライドは全部で11枚あって、すべて光球①、白色平板②と併用します。（ただし、光角度板を装着した場合には使えませんので注意してください）

HIGHスライド⑫は、測定範囲をかえる（高照度と低照度）2段切換え用として使用することはすでに述べましたが、直読用にも使用できます。

シャッター スピード スライドNo.	1/ 15	1/ 30	1/ 40	1/ 50	1/ 60	1/ 125	1/ 250	1/ 500
1	ISO 64	ISO 125	ISO 160	ISO 200	ISO 250			
2	50	100	125	160	200	400		
3	40	80	100	125	160	320		
4	32	64	80	100	125	250		
5	25	50	64	80	100	200	400	
6	20	40	50	64	80	160	320	
7	16	32	40	50	64	125	250	
8		25	32	40	50	100	200	400
9		20	25	32	40	80	160	320
10		16	20	25	32	64	125	250
11			12	16	20	40	80	160
HIGH					12	25	50	100

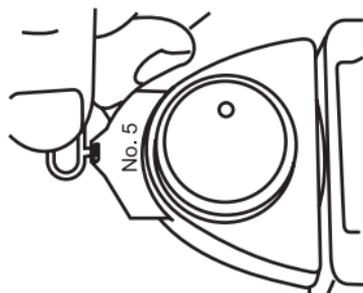
<注>

- ・ HIGHスライドも直読スライドの一部として使用できます。
- ・ ケース入り1セットはNo.1～11の11枚です。HIGHスライドは付属品ですので、直読スライドセットには入っていませんが、ケースの中に納めるスペースがあります。

### 2. 直読スライドの使い方

撮影の際、使用フィルムの感度とシャッター速度で(P16)表からスライド板のNo.を選んでください。そのスライドを挿入し、測定は入射光式と同様に行って、指針⑱が指示する絞り値④を直接読みとってください。

直読スライドを使用すればダイヤルを回すことなく、極めて迅速にセットできますから大変便利です。



## 8. 取扱い上の注意

---

スタジオデラックス は精密機器ですので下記の点を注意してください。

落下または急激な衝撃は絶対に避けてください。

磁性に影響ある所及び防虫剤の入っている所への保存は避けるようにしてください。(金属キャビネット、タンス等)

精度に影響を与える恐れがありますので、光球や白色平板には、ホコリ、ゴミ、キズが付かないようにしてください。

光球や白色平板が汚れたときは、乾いた柔らかい布等で拭いてください。

有機溶剤(シンナー、ベンジン等)は、絶対に使用しないでください。

## 9. アフターサービスについて

\* 弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引き受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

無料保証期間などについて

1. 無料保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2. 保証書にお買い上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 無料保証期間でも有料修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にてご負担願います。補修用部品の保有期間などについて
1. 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われますものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

修理ご依頼にあたって

修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要なと認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご留意ください。

お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただき、それ以外の責は負いかねます。

## [保証規定]

1. 使用説明書にそった正常な使用状態で、万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または弊社営業部門にご持参くだされば無料にて修理・調整させていただきます。
  2. 次のような場合には保証期間内でも保証の対象とはなりません。
    - (1) 誤ったご使用またはお取り扱い上の不注意により生じた故障、または損傷など
    - (2) 保管上の不備によるもの、および使用者の責に帰すと認められる故障、または損傷など
    - (3) 弊社の指定する修理取扱所以外で行われた修理・改造・分解掃除などによる故障または損傷
    - (4) 火災、地震、水害、公害およびその他の天災地変や落下、衝撃などによる故障または損傷
    - (5) 保証書のご提示がない場合
    - (6) 保証書にお買い上げ日、保証期間、販売店名などの記載に不備がある場合あるいは字句を書換えられた場合
    - (7) ご使用後の内・外装面のキズ、部品や付属品の紛失による修復交換
    - (8) 各部点検、精密検査、分解掃除等を特別にご依頼された場合
    - (9) 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失など)
    - (10) お買い上げ店または、弊社営業部門にご持参いただくに際しての諸費用またはお買い上げ店と弊社間の運賃諸掛り
3. ご注意
    - (1) 本保証書は以上の保証規定により無料修理をお約束するものでこれによりお客様の権利を制限するものではありません。
    - (2) 本保証書の表示について、ご不明な点は弊社営業部門にお問い合わせください。
    - (3) 保証書をお受け取りの際は、販売店名および購入年月日などが記入されているかどうかをご確認ください。万一記入もれがありました場合には、

- ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
- (4)保証書の再発行はいたしませんので大切に保存してください。
- (5)本保証書は日本国内においてのみ有効です。
4. 個人情報について
- (1)お客様より頂きました個人情報は、個人情報保護法のもと、以下の利用目的等に限定し、第三者への供はいたしません。
- a. 電話・FAX・E Mail・手紙などによる各種情報配信サービスとのご案内
- b. 弊社、社内使用に限定したマーケティング資料の作成
- (2)お客様ご本人が確認・開示または訂正・削除を希望される場合には、下記にご連絡ください。

連絡先

〒178-8686

東京都練馬区大泉学園町 7-24-14

TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144

<http://www.sekonic.co.jp>

## **株式会社 セコニック**

〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14

TEL03-3978-2366

FAX03-3922-2144

<http://www.sekonic.co.jp>